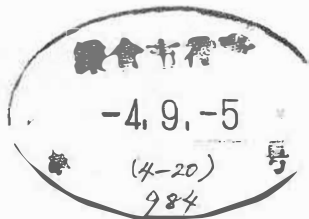


景観配慮協議申出書

2022年 9月 5日

(宛先) 鎌倉市長



住所 [REDACTED]
 届出者 氏名 木村道哉 印
 電話 [REDACTED]
 住所 東京都世田谷区東玉川2-41-17-101
 代理人 氏名 株式会社 miCo. 篠原水紀 印
 電話 03 (6451) 7541

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	旧市街地の住宅地		
景 観 地 区	<input checked="" type="checkbox"/> 内 (旧市街地の住宅地) <input type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	東京都世田谷区東玉川2-41-17-101	
	氏 名	株式会社miCo. 篠原水紀	電話 03 (6451) 7541
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市雪ノ下三丁目694-2、694-17	
	用 途 地 域	第一種中高層住居専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	2022年 11月 15日	完了予定 2024年 1月 31日

(裏)

建築物の概要	用途	戸建住宅 (1戸)				
	最高の高さ	8.787m	階数	地上 1階	地下 階	
	構造	木造				
	敷地面積	1924.90 m ²				
	建築面積	1250.25m ²	届出以外の部分	0.00m ²	合計 1250.25m ²	
	延べ面積	1152.96m ²	届出以外の部分	0.00m ²	合計 1152.96m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m		
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	アルミ横葺き+塗装	色	屋根	N3.0 ダークグレー
		外壁	杉板+塗装		外壁	5YR7.5/1.0 ベージュ
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²				
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²)	その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³)	盛土 (m ³)	その他 ()		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着眼点	計画地周辺の現況等記入欄
地域的特徴	南に向かって若干の傾斜がある。北に100～200m程度行くと山が始まり木が生い茂っている。
まち並みの連続性	第一種中高層住居専用地域ではあるが、3階建以下の低層住宅が多い、高さを抑えている。
周辺建物のデザイン	戸建住宅もしくは小規模な共同住宅が多く、勾配屋根の建物が多くみられる。
眺望景観	鶴岡八幡宮から敷地上空を眺めることができる。南側前面道路に入ると直接視認可能である。
景観資源	敷地近くには大倉幕府跡や源頼朝の墓などの石碑が立っている。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
配置	◎	建物を敷地の中心に配置し、道路や隣地から距離を取っており、周辺に対し圧迫感を与えない計画としている。
形態意匠	◎	屋根形状は一般的な寄棟形式を採用しており、また面を複数に分割しているため、周辺になじむサイズとしている。
色彩	◎	自然素材や彩度が低い色をメインに使うことで、歴史のある街並みと調和している。
建築設備	◎	空調設備機器が見えにくいように配置し、雨水排水も敷地内で処理できるように、側溝を設けている。
外構緑化	○	建物に対して庭の面積が大きいわけではないが、土の部分には植栽を極力設けている。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項目	自己評価	配慮事項記入欄
造成		
擁壁		
敷き際・緑化		